

# -- 家族連携 Research --

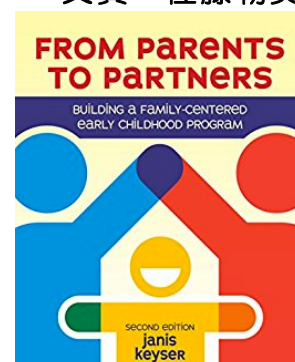
18.01.25-

文責：佐藤朝美



From Parents to Partners: Building a Family-Centered Early Childhood Program 2nd Edition, Kindle Edition

by Janis Keyser Publisher: Redleaf Press; 2 edition (May 15, 2017)



## <情報>

NAEYC Family Engagement

<https://www.naeyc.org/resources/topics/family-engagement>

親をパートナーと位置づけ、家族が参画する保育の実現を目指すテキスト

From Parents to Partners: Building a Family-Centered Early Childhood Program



6章：HOW CAN TECHNOLOGY SUPPORT FAMILY-CENTERED CARE?



- 教育者は、家族中心のケアのあらゆる側面で技術を使用する革新的な方法を探している。
- テクノロジーは、双方向コミュニケーション、意思決定のためのデータの収集と共有、コミュニケーションスタイルの多様化を可能にするツール、およびサポートネットワークを構築するため多くのアクセス可能な手段を提供する。
- テクノロジーはまだハードルがあるが、急速に普及している。
- さらに、若い親や教育者は、すでにテクノロジーが浸透している文化の中で生まれたため、テクノロジー・ネイティブである。
- 2015年のピュー・リサーチ・センターの調査によると、アメリカ人の64%がスマートフォンを所有しており、2014年初めの58%から増加している。
- さらに、若い両親は日常生活にテクノロジーを使用する可能性がさらに高く、スマートフォンを所有する30~49歳の人々の79%がスマートフォンを所有している (Smith 2015)。
- 同様に、幼児関連の就労者も入れ替わり、より多くの専門家がデジタル技術のツールに慣れている。
- さらに、より早期の小児プログラムではコンピュータとタブレットが教育者に提供されており、教育者の大多数はスマートフォンを所有している。
- 育児プログラムの管理を支援する多くのソフトウェアアプリがあるが、この章では、家族/プログラムのコミュニケーションとパートナーシップをサポートするツールに焦点を当てる。  
(この章では、教室での子供とのテクノロジーの使用に関する情報は含まれていない)。

## ■ BENEFITS AND CHALLENGES TO USING TECHNOLOGY

### ■ (テクノロジー使用の利点)

- テクノロジーは、効率を提供し、コミュニケーションやパートナーシップの可能性を拡大する。
- しかし、テクノロジーへのアクセスと利用の急速な増加は、必ずしも純粋に有益なわけではない。
- 家族中心のケアでテクノロジーを使用する利点と課題を詳しく見て、どのようにテクノロジーをプログラムに組み込むかを選択するのかを検討すべき。
- 

### ■ チャレンジ

- テクノロジーが気を散らすとき、テクノロジーのメリットもチャレンジなる
- 子どもたちは反応的で注意深く、調整された教育者を必要とする。

- 子供たちが床に座っているときには、あなたのテクノロジーツールが、いつどこで技術を使うのかについて意図的に選択することが重要。子供と一緒に床に座っているときに撮った写真やビデオでさえ、注意すべき。

#### ■時間を節約するツールが実際に作業負荷を増加させる場合

- テクノロジーが合理化して役立つ場合でも、新たな課題が発生する可能性がある。
- 印刷やコストに関係なく、必要な数の写真を撮ることができ、過去に比べて数百枚の写真があると、写真の並べ替え、保存するものの決定、作物の調整、テキストやストーリーの追加、投稿の場所や送信先を決めるのにかなりの時間がかかる。
- テクノロジーの使用が増えるにつれて、通信の量とスピードの期待は着実に増加する。
- 1日から2回の個人メールと数回の電話を利用していた人々が、毎日数十、数百の電子メールとテキストメッセージをやりとりするようになっている。
- テクノロジーを効果的に使用して家族とのコミュニケーションやパートナーシップを向上させ、同時に子供向けの高品質なプログラミングを維持するためには、使用するテクノロジーの優先順位付け、使用しているテクノロジーが有効かどうかの評価、どのようにしていつ使用されるのかについて話し合うべきである。
- 優先順位と有効かどうかの評価は、教育者が個別に、また同僚や管理職に引き継ぐために重要。
- テクノロジーを使用する際のもう1つの考慮点は、ツールがタスクに適しているかどうか、そしてテクノロジーが適切に機能しているかどうか。
- テクノロジーの資源から、または組織内から技術サポートを利用すると、テクノロジーのトラブルシューティングを支援し、適切なツールを使用しているかどうかを判断できる。
- 利益を最大化し、技術の課題を最小限に抑える政策と実践を開発することは、家族中心のプログラムにおける質の高いケアと教育の本質的な要素に注目するのに役立つ。

#### ■機密性と安全性

- オンラインで子供たちの写真や観察を投稿すると、教室や家族と共有するハードコピーのポートフォリオに投稿するよりも、機密が重要になってくる。
  - あなたが使用するオンラインサイトの多くはプライバシー保護を提供していますが、子供の写真がインターネット上で広く共有されないことを好む両親を心配する機密性を侵害する可能性もある。
  - 子供の写真だけを持つ家族と文書やアルバムを共有する場合、機密性はかなり高いが、子供の写真を他の子供に含めると、他の家族の連絡先と共有することができる。
  - 管理者の招待によってのみアクセス可能なクラウドソーシャルメディアグループを使用できるが、保護者は写真をコピーして拡大家族に送れる。
  - 保護者と子供のグループの写真オンライン形式で共有する場合は、保護者がサインするフォトリリースを作成し、親グループと話し合っ、サイトで共有する写真の使用に関するプロトコルを確認すべきである。
  - C5 CHILDREN'S SCHOOL のジョー・ワイズマン (Joe Wiseman) は、「子供の画像の所有を同意することにより、自分の子供以外の子供の画像をどのように使うのか、他の専門家や家族と何を共有するのか」の説明をし、すべての家族が包括的なメディアリリースに署名してもらっていると述べている。
- ※C5 CHILDREN'S SCHOOL <http://c5children.org/>

#### ■コミュニケーションの明確な期待とガイドラインを設定する

- テクノロジー普及のもう一つの成果は、即時の対応が期待されること。
- 親にメッセージを送って、すぐに返答するという期待があるかもしれない。
- 家庭とのコミュニケーションする際、電話機を使用するときも、1日を通して多くのテキスト、電子メール、通話を受信する可能性がある。
- たとえあなたがこれらに答えることができなくても、何が入って来るのか見ていないのは難しい。
- 同僚やプログラム管理者と一緒に、テクノロジーがどのように使用されるのか、特にあなたが子供といる時間にも計画することは重要です。
- バランスを見つけることは重要であり、プログラムによって異なる場合があり、教室でのテクノロジー使用のメリットと欠点を評価する際、時間の経過と共に変化する可能性がある。

#### <<<家族中心のケアにおけるテクノロジー使用のガイドラインの提案>>>

- 検討しているテクノロジーがプログラムの目標と一致することを確認する。
- 使用しているテクノロジーが効果的で効率的かどうかを評価する。
- さまざまな種類のテクノロジーがいつ、どのように、いつ利用されるか、特にテキストと電子メールについて、両親や同僚との期待を設定する。親がどのくらい返答を期待するかについても言及する。
- サイトで共有したり、他の人と直接共有している子供の写真を使用するためのプロトコルを確立する。
- 電子メール、通信のグループとの守秘義務の期待を確認する。

### ■テクノロジーへのアクセスに関係なくすべての家族に公正さ

- プログラムはテクノロジーにアクセスできる多くの家族にサービスを提供するが、よりテクノロジーベースのコミュニケーションを始める場合は、現在コンピュータやスマートフォンを持たない家族のアクセスをサポートする方法を考えることが重要。
- 一部のプログラムでは、アクセスを提供するために、ロビーエリア、または教室に1台または2台のコンピュータやタブレットを設置している。
- ローテクコミュニケーションにもっと慣れている親にとって、ハードコピーのニュースレター、教育者からのメモ、今後の予定を発表するチラシは、テーブルや戸棚でも利用できる。
- 親の好みのコミュニケーションモードを尋ね、提供できるコミュニケーションのモードが親の好みに含まれていることが重要。

### ■Benefit 利点

#### ■時間の節約/効率化

- テクノロジーは時間を節約する。
- 写真は現像する必要がなく、オンラインで簡単に共有することができる。
- さらに、望むだけ写真やビデオを撮ることができまる。
- 完璧なショットを撮って映画を浪費しているのであれば心配する必要はない。
- 瞬時にメッセージを送信することができ、アナウンスの印刷やメールボックスのスタッフィングにかかる時間と費用を節約できる。
- マウスをクリックして家族全員に連絡を取ったり、プリセットリストを使って特定の家族のグループに連絡したりすることができる。

#### ■通信障壁を打破する

- テクノロジーは、教室に多様な文化や言語を含めるための手段を提供することができる。
- 異なる言語を話す家族や教育者とのコミュニケーションのための簡単な翻訳を提供できるツールはたくさんある。
- ソーシャルメディアサイトは翻訳を提供することがあり、特定のソフトウェアプログラムも翻訳を提供する。
- ある教室では、多くの家族が2つ以上の言語を話した。
- 教育者は子どもの言語に堪能ではなかったにもかかわらず、家庭の言語を教室に取り入れる方法を考える上で家族と協力したいと考えていた。教育者はソーシャルメディアサイトを使って

- 教室で家庭の言葉を取り入れて敬う意思を共有する
- 子供の母国語とバイリンガルの重要性について語った記事やリンクを提供する
- 家庭の言語と教室に自国語を組み込むためのアイデアについて親に尋ねるアンケートのリンク
- 調査の結果を共有する
- 保護者会へのカレンダー招待状を作成してアイデアを話し合う
- クラスルームの言語イベントのカレンダーを家族と共有する
- 授業中の子供たちに言語活動を提供する親の写真やビデオをアップロードする
  - 歌、ストーリーテリング、ムーブメント活動、日本語漢字の書き方、料理活動、
  - カルチャーレコーディングの共有、文化活動の画像の投影
- お互いの会話で自国の言語を使って子どもを観察し、両親が教室で提供した話や活動の一部を再現する

- このプロジェクトでは、両親はまた、
  - 子どもの教室で使用されている言語、家庭での言語使用の観察を共有する
  - 文化イベントに関する情報を教室のコミュニティと共有する
  - 子どもたちの自宅の言語をサポートする、また新しい言語の語学体験を提供する
  - 家庭の料理の食べ物や自宅で料理する子供たちの写真を共有する

#### ■個々の家族の毎日のコミュニケーション

- ケア情報、重要なイベントの共有、ケアの決定に関する相談など、家庭と学校間の日常的なコミュニケーションにはテクノロジーが有益。
- テクノロジーが通信をどのようにサポートしているかの例をいくつか示す。
- 一部のプログラムでは、保護者が子供を電子的にチェックし、自宅のスケジュールやニーズに情報や更新情報を提供するソフトウェアを使用している。
- 例えば、両親は、幼児の起床時間、最後の食事時間およびおむつ、およびその日の介護要求に関する情報を含むこと

ができる。

- 同じソフトウェアでは、保護者が子供のケア情報を、1日を通して記録することができるため、保護者は乳児のスケジュールに関するリアルタイムの情報を得ることができる。
- テクノロジーの低い例では、保護者と教育者は、保護者が日中に写真を撮ることができる
- 1日の拭き取り用紙でケア情報を共有するよう促すことができる。
- 教育者は、電子メール、チャット、その他の電子的なコミュニケーションを使って、ケア、アクティビティ、ルーチン、その他の親の関心領域への子供の調整について、テキスト、写真、ビデオのアップデートを親に送信することもできる。
- 特に、別れ際に泣いていた子が泣き止み、他の人と接していたことを聞くのは有益である。
- そうでなければ、彼らは一日中泣くもしくは怒っている子供のイメージを持っていることになる。
- 教育者がケアの決定に関して親と相談したり、多くの情報を入手したりしたいときが時折ある。
- 例えば、両親が午前10時30分に幼児を昼寝するように要求したにも関わらず、午前10時50分にまだ寝ていない、あるいは原因不明の発疹が発症し、教育者が子供が新しい食べ物を食べたかどうかを確認するために両親に報告する、などがある。
- 時には、教育者は病気の可能性のある早期症状を見て、症状が増えれば子供を迎えに来てもらう必要があるかもしれないことを両親に警告したい。
- 電子メール、テキスト、または電話によるメッセージは、迅速な対応に適している。

#### ■プログラム内のすべての家族のためのコミュニケーション

- テクノロジーは、グループ通話作成と普及の両方に強力なツールになる。
- 簡単なテンプレートを使用してニュースレターを作成し、すぐに教室やコミュニティ全体と共有できる。
- さらに、共有文書や共有サイトのニュースレターは、教育者、管理者、および家族を含む複数の著者によって作成され、負荷を分散して複数の音声を許可することができる。
- フライヤーやイベントアナウンスは、電子メール、ソーシャルメディア、ブログ、またはWebサイトを通じて共有することができる。
- さらに、特定のカレンダーまたはイベントの招待状により、イベント参加者は、イベント後に写真をアップロードして共有することができる。
- グループ電子メールのエイリアス、テキスト、ソーシャルメディアサイトを通じて、親に同時にアクセスできる。
- これらは、すべての学校の発表や緊急事態に役立つ。
- 多くのプログラムでは、グループ通信、全校コミュニケーション、教室固有のコミュニケーション、および異なる分野の子ども固有の情報のために、ウェブサイトまたはブログを使用する。
- さらに、ソーシャルメディアやブログを利用して、当日からの活動や経験を投稿することで、家族は日の出来事に関するリアルタイムの情報を持っているため、日常的なチェックインを増やすことができる。
- 家に帰った後、親は子供たちと一緒に日記を見て話すこともできる。

#### ■潜在的家族のためのコミュニケーション

- テクノロジーはまた、新しいプログラムに参加する家族に、基本的なプログラム情報を提供することができる
- オンラインで、育児や児童養育プログラムを見つける家族が増えている。
- これに対応して、多くのプログラムは、情報を公開するために、単純なものから非常に複雑なものまで、ウェブサイトを開発してきた。
- この可視性とアクセシビリティは、家族がプログラムに関する情報をより効率的に検索して比較するのに役立つ。
- 写真、哲学の声明、子供の作業のサンプル、親と子供からの引用、基本的なプログラム情報を含むWebサイトでは、保護者は自分の子供のためのプログラムの最初の検索をオンラインで行うことができます。多くのプログラムのWebサイトでは、一般人と自分の家族のために異なるアクセシビリティを持つ。
- 誰でも見ることができる外向きのウェブサイトを提供し、パスワードで保護されたプログラムファミリーのための内向きのサイトを提供する。

#### ■家族間コミュニケーション

- テクノロジーは、ネットワーキング、コミュニティ構築、家族間のサポートとリソースの共有を支援する大きな可能性を秘めている。
- 家族をお互いに紹介するために、両親が電話/電子メールの連絡先情報を共有できるようにすることができる。
- 共有ドキュメントを使用すると、子供や家族のフォトリストを作成できる。
- プログラムは、このリソースを家族のために集めることができる。また、家族を共同編集者として家族の写真を共有フォトアルバムやドキュメントにアップロードし、自分がどこに住んでいるか、好きな家族の活動、好きなレシピ、家族の話、彼らは訪問したい、彼らが共有したいと思っているリソースを増やすことを好む。

- これらのコピーを印刷して、子供たちが見るように教室で利用できる。
- ソーシャルメディアサイトでは、親が教育者や他の家族と対話し、ネットワークを構築するための可能性もある。
- 家族は他の家族に招待状を送って外食やイベントに参加できる。
- 販売、貿易、または無料の子供用アイテムを投稿する;子育ての質問をする。
- コミュニティリソースや子育てに関するアイデアを提供する。
- 児童の週末活動などを文書化する。
- 教育者は、グループの投稿をテーマに招待する質問を家族に求めることがある。
- あなたの家族の好きなシンプルなディナーレシピは何ですか？パーク？ハイキング？子供と食べる場所？アクティビティ？
- このサイトは、より慎重に議論するためにも使用できる。
- あなたの家族と一緒に楽しんでいる伝統は何か？子供が最近学んだこと、観察したことを説明して下さい。
- あなたは子供から何を学んだか？
- 教育者がサイト上で対話と共有の文化を確立することができれば、両親は情報を得ることができる。

#### ■親の教育を支援する技術の使用

- インターネットは、児童育成、教育戦略、親の教育について教師や親の教育を支援する豊富なリソースを提供することもできる。
- 親の教育のための良いサイトは、親と直接共有することも、親との会話、会議、または会議を準備する上での教育者のためのリソースとしても役立つ。
- 一部のサイトでは、保護者会のためのディスカッションスターターとして使用できる情報を提供することができる。
- このような多彩な方法で使用できるサイトの例として、カリフォルニア州教育省のサイト「All About Young Children」がある。
- このサイトには、テキスト、ビデオ、親のディスカッションを使った子育て情報と子育てに関するヒントがある。
- それは年齢と発達の両面から組織され、8つの異なる言語で提供されているので、幅広い多様な親からアクセス可能。

※All About Young Children <https://www.allaboutyoungchildren.org/>

### ■TECHNOLOGY TOOLS TO SUPPORT GREATER COMMUNICATION

#### ■より大きなコミュニケーションをサポートするための技術ツール

- 家族中心のケアでコミュニケーションをサポートするために選ぶべき無数のテクノロジーツールがある。
- それらのうちのいくつかは、設計において独特であり、提供する通信可能性のいくつかが重複している。
- プログラム、家族のために適切なツールを選ぶには、作成したいコミュニケーションの種類を特定することが重要。
- 双方向通信を必要としない簡単なアナウンスをウェブサイトに掲載することができる。
- 家族からセンターへのフィードバックが必要なイベントはアンケートで行えるが、センター全体のディスカッションを刺激するための質問には、誰もがすべての投稿を読むことができるようなブログのような場が必要。
- それぞれが何を提供できるかについての説明と例を含む、いくつかの可能なツールがある。

#### ■ブログ

- 一部のプログラムでは、ブログを使用して教室や学校に関する情報を共有する。
- ブログでは、定期的に新しい資料を簡単にアップロードすることができる。
- 以前のエントリのアーカイブを含めることができる。ブログの投稿は、他のリソースやビデオにリンクしたり、写真を共有することもできる。
- ブログはソーシャルメディアよりもインタラクティブではないが、ほとんどの場合、読者のコメントが可能。
- 学校が運営するブログの素晴らしい例は、オパールスクールブログ。
- このサイトは、公開されているページとパスワード保護されたページの両方を提供しており、ポートランド公立学校とポートランド子供博物館のプログラムである学校の各教室固有の情報を提供している。
- オパールスクールのホームページ (<https://opalschool.org>) には、学校の仕事と哲学に関する月例の記事が含まれ、教育者や保護者にもインスピレーションを与えている。
- その他のには、学校の使命に関する声明、専門能力開発のためのリンク、読書リスト、楽しいこと、本ブログ、特に親のためのもの、思考のための資料、ニュースレターの登録などが含まれる。
- 毎月の記事のそれぞれの後に、“REBLOG”、“Tweet This”、“Pin It”、または“Facebook上で好きな”Webページ“へと飛ばすことができる。

#### ■Web ページ

- Web ページは、プログラムについてよく整理され、簡単に見つけやすく包括的な情報を提供。Web ページは簡単に変更できるように設計されていないため、哲学やカリキュラム、親のハンドブック、連絡先情報、カレンダー、スタッフ情報、Staff Bios など、プログラムに関する静的な情報を提供すべき。
- Web サイトでは簡単にナビゲーションができる。
- ほとんどのホームページから、サイト上で利用可能なすべての情報を見ることができるので、親が探しているものを簡単に見つけることができる。
- 保護者は、オンラインで記入したり、PDF でダウンロードしたり、ブログやソーシャルメディアなどのインタラクティブなサイトへのリンクを提供することもできる。
- Web サイトに情報を掲示することの 1 つの挑戦は、両親が必要な情報をすべて読めるようにすること。
- ハードコピーの文書では、必要なものをすべてをいつ読んだのかを親が知ることができるように、開始と終了を簡単に判断できる。
- いくつかのプログラムは、公的または将来の家族と登録された家族のための異なるウェブサイトを作成する
- いくつかは、パスワード制御し、個々の子供に関する詳細な保育の情報とドキュメントのために、エントリーを作成できるようにする
- カリフォルニア州サンフランシスコの C5 児童学校が登録した両親に提供する情報の例を以下に示す。

C5 でのもう 1 つのテクノロジーの使用は、両親と家族と一緒に。私たちのスタッフは、プライベートで安全な Web サイトを使用して、直属の家族、大家族のために豊富な情報を提供する。サイトには日々のストーリーが含まれており、毎日子供の教室で行われる重要な活動の説明と写真が掲載されている。子供の学習グループが来週に何をしているのか、そしてあなたと家族がその活動をどのようにサポートするかについての提案をあなたに提供する週プランもある。家族と子供の担任のプライベートフォーラムであるホームスクールジャーナル。斡旋業者、Chefables によって提供されるスナックとランチの月間メニュー。役に立つ情報の他の多くのカテゴリ (2016 年)。

- C5 児童学校の学習と SF シティビルディングセンターディレクターのジョーワイズマン (Joe Wiseman) は、登録された両親がログオンし、子どものページと子供の教室ページに行くことができると説明する。
- 親は、ニュースや更新情報にアクセスしたり、Summer Book や Box プロジェクト、Healthy Parks / Healthy People、Parents Night Out などのリンク先ページのセンター情報を受け取ることもできる。
- 親は祖父母へのアクセスを要求することもできるので、学校や子供の教室からの最新情報や情報を見ることがもできる。
- ジョーは、「デイリーストーリー」は午後に掲示されているため、両親は同じ日に子供と一緒にそれを熟考することができる」と説明する。
- これらの投稿はインタラクティブである。
- 親は「好き」、コメントすること、または議論することができる。
- 彼は、ホームスクールジャーナルは、家族とその初等教師の間で必要に応じて使用され、秘密であると述べている。
- 教育者または親がディスカッションを開始し、質問と情報、懸念、および観察を共有できる。

#### ■ソーシャルメディア

- ソーシャルメディアのインタラクティブフォーマットは、コミュニケーションをサポートする。
- ソーシャルネットワークを使用している人の数は過去 10 年間で急速に増加している。
- 2005 年には、アメリカ人の 7%だったのが、2015 年には、アメリカの大人の 65%と 18 歳から 29 歳の人々の 90%が、少なくとも 1 つのソーシャルメディアサイトを使用していると報告 (Perrin 2015)。
- ソーシャルメディアでは、写真、ビデオ、スキャンされた画像、テキスト、他のサイトやリソースへのリンクをリアルタイムで共有できる。
- グループ内の誰でも投稿できるので、多方向の会話やコミュニケーションのためのアクセス可能なフォーラム。
- 多くのソーシャルメディアサイトでは、閉鎖されたグループを作成できるため、コミュニケーションに秘密裏に対応できる。
- 教育者は、ソーシャルメディアを使って、子供、プロジェクト、学校や教室のイベントの観察を共有してきた。
- 週に関連するフォトアルバムや特定のプロジェクトを共有することができる。
- 写真には、イメージにコンテキストを追加するためのキャプションを付けることができる。
- 教育者は、ソーシャルメディアを使って情報を共有したり、質問したり、教室のカリキュラムについて家族と意見交換したりすることもできる。
- 1 つの教室では、ガーデニング・プロジェクトをドキュメント化した。

- ソーシャルメディアサイトに投稿したこといくつかを以下に示す：
  - 教室のコミュニティにガーデニングをして、家族に情報やリソースがあるかどうかを確認するための児童の質問
  - 子どもたちが、庭・植林すべきものに投票するための家族と子供のための調査（リンク）
  - 栽培、豆腐の構築、その他の庭の仕事への家族への招待・家庭の写真を投稿するための家族への招待
  - 子どもたちの行を測定して引き出した写真
  - 植え付けプロセスや苗木や根の子供のスキャンした図面（子供たちから植物やその絵についての引用を含む）
  - キャベツのワームをどうするべきかのアイデア彼らの庭で見つけられる
  - 自然の害虫駆除のサイトへのリンク

これらは、共同制作のカリキュラムに家族を招待し、一緒に学習者コミュニティを構築するソーシャルメディアサイトを使用してできるコミュニケーションの多様性のほんの一例

#### ■ Apps

- 複数のソフトウェア会社が教育者と家族との間の日常的なコミュニケーションを子供たちのために促進するための特定のアプリを開発した。
- これらは家族、写真、短い観察、およびその他の日常的なコミュニケーションとケアルーチン情報を共有するために使用できる。
- これらのプログラムの有用性を評価するには、教育者の使いやすさ、情報の入力に必要な時間、ツールが双方向通信を可能にするかどうか、ツールが貴重な情報を追跡するのに役立っているかどうかを調べることが重要
- さらに、アプリの費用対効果が高く、家族が使用するすべてのデバイスでアクセスできるかどうかを検討すべき。
- 小規模な親のグループにパイロットを依頼し、それを採用することを決定する前にフィードバックを提供することも有益。

#### ■ 電子メール

- 電子メールは、引き続き、教育者と家族間のコミュニケーションの多用途なツール。
- 同時に会うことができない個人またはグループメンバー間の対話を提供する。
- 電子メールスレッド（複数の前後のコメントを含む長い電子メール）は、会話の履歴を保持できる。
- 電子メールを使用すると、ユーザーは文書、添付ファイル、リンク、写真、またはビデオを送信できる。
- ソーシャルメディアで達成できることいくつかは、電子メールでも行うことができる。
- エイリアス（グループ名を使用して電子メールで送信できるグループ）は、一度に親グループ全体と簡単に通信できる。
- 電子メールを使用して写真、ビデオ、またはその他のグループ文書を共有する場合は、グループとの最初の守秘義務の期待を確認することが重要。
- あるプログラムでは、教育者は、電子メールのスレッドで親を招待し、幼児の庭の再設計のためのアイデアを追加した。
- 親の子供の頃のアウトドア遊びの思い出、幼児が近隣の周りで興味を持ったこと、庭園や庭のための他の創造的なアイデアなど、親と教育者の間で活発な議論が行われた。
- 勤務時間は熱狂的に行われ、両親の考えの多くは庭の設計に含まれた。

#### ■ テキスト

- テキストは、保護者と教育者の両方にとって、最も速く、最もアクセスしやすく、使いやすいオンラインコミュニケーションツールの1つ。
- 多くの人が自分のコンピュータを自分のコンピュータよりも近くに置く可能性が高いので、テキストメッセージが受信者にすぐに届く可能性が高くなる。
- テキストはイメージを送信したり、ビデオをリンクしたり、文書やその他のリソースをリンクしたりすることができるため、電子メールで送信できるもののほとんどを通信することができる。
- 教育者は、子どもが持っている新しい開発やエキサイティングな体験、難しい落ち込みの後のやり方、子供が見ている症状について素早くメモや写真を送信するためにテキストメッセージを使うことがよくある。
- 同様に、両親は、授業時間や人の変化、離脱時に忘れた情報、児童がどのように行動しているかについての質問を送ることができる。
- いくつかの学校では親の電話番号のすべてを教室の電話機でプログラムしているため、緊急時にグループテキストを作成できる。
- テキストメッセージの容易さとアクセシビリティは、欠点を生むこともある。
- 多くの教育者は子どもと一緒に床に座っている間に電話するので、いつどこでテキストができるのが意図的であるか

は、子どもたちが完全に存在することを保証するために重要（技術の利点と課題のセクションを参照）。

- あるプログラムでは、教師用のスマートフォンを親とのコミュニケーションに使用することで、この問題を解決している。
- 教師は、昼休みや休憩中に自分の携帯電話を個人的な使用のために床から離しておく。

#### ■ビデオ会議または電話会議

- コンピュータとスマートフォンは、仮想会議のために複数の人をつなげることができる。
- また、参加者が中央番号に電話をかけ、コードを使用して会議に参加できる電話会議サービスもある。
- 親やスタッフがコンピュータやスマートフォンにアクセスできる場合は、スカイプ、Google ハングアウト、FaceTime などの簡単なアプリを使用して、複数の人がビデオ会議（VC）のために複数の場所で同時に会うことができる。
- これらの技術は、親と教育者のスケジュールが同時に参加者が同じスペースに入場することを許さない場合、会議の機会を提供する。
- 両親は、仕事、家庭、または他の場所から会議、会議、または諮問グループに出席することができる。
- いくつかのプログラムでは、両親を教育者のカリキュラム計画ミーティングに招待している。
- 同様に、教育者は他の場所の同僚と協力することができる。
- 教育者や家族は VC を使って子供と家族や友人をつなぐ。
- 親が旅行している場合、または子供が家族と一緒に旅行している場合、教室で VC をスケジュールできる。
- 「C5 Children's School」のジョー・ワイズマン（Joe Wiseman）は、親が旅行しているときにスカイプの使用について説明している。
- 「私たちは日々のスケジュールに合った親と時間を取っている。
- 子供とその友人の一部は、移動する親に会い、話すことができます」同様に、子供が移動したり新しい学校に通うと、VC は古い友達と一緒に訪問することができる。
- VC は、親の職場への仮想訪問、または他の国に住む祖父母に会うためにも使用できる。
- 実際、ビデオ会議では、関係を育成し、カリキュラムを強化するための数多くの可能性がある。

#### ■写真とビデオ

- 過去 20 年間に写真とビデオが革命を起こしました。電話、タブレット、カメラで写真やビデオを撮ることができます。カメラは、あなたの手、スティック、または無人機に収めることができます。ほとんどのデバイスは、写真、ビデオ、および音声録音を行うことができます。多くのデバイスは自動的に写真をコンピュータにアップロードしたり、最新のスマートフォンと同様にメモリーカード、コード、または簡単なタップで転送することができます。特定のアプリケーションでは、顔認識を使用して写真を簡単に並べ替えることができます。写真はデジタルであるため、他のカテゴリに従って並べ替えることもできます。これは、写真を日付で整理したり、個々の子供のアルバム、特定の発達アルバム、カリキュラムプロジェクトアルバム、および/またはニュースレターアルバムに保存するようにタグ付けしたいと考える教育者にとって大きな利点です。この並べ替え機能により、1 つの写真にさまざまな用途に簡単にアクセスできます。デジタルアルバムでは、各子供のアルバムを作成することもできるため、子供の発達を時間の経過と共に追跡することが簡単になります。オンラインの写真、ビデオ、サウンドクリップを近くの子供の家族と簡単に共有することができます。共有アルバムを使用すると、家族が自分の写真を共有アルバムに追加することもできます。多くの家族は電話やデジタルカメラにアクセスできますが、一部のプログラムでは家に持ち帰るためのカメラがありませんので、子供や家族の写真をグループと共有することができます。写真がアップロードされると、どのような形式でも、それらを閲覧する権限を持つ誰でも印刷できます。写真、文書、ブログ、ソーシャルメディアの投稿、電子メール、テキストに写真を簡単に統合することができます。ポートフォリオ、子供の発達プロフィール、デジタル画像フレームを含む教室の表示など、ドキュメンテーションに追加することができます。写真とテキストを組み合わせると、共有する画像に文脈、深さ、解釈を追加することができます。両親や教育者が写真に簡単にアクセスできるようにすると、写真の理解と解釈におけるコラボレーションが促進されます。一緒に、子供たちの学習と発見を支援する計画を立てることができます。

### ■ USING TECHNOLOGY TO SUPPORT GREATER COLLABORATION BETWEEN CHILDREN, FAMILIES, AND EDUCATORS

#### ■子供、家族、教育者間のより大きな協力を支えるテクノロジーの使用

- 家族中心のプログラムでは、意思決定とコラボレーションを共有する機会を提供することが重要。
- いくつかの技術的ツールがこの種のパートナーシップを呼び起こす。
- コラボレーティブなオンラインドキュメントは、招待された共同編集者が同時に作成、閲覧、コメントすることができる。



- ドキュメントの変更は、すべてのバージョンで直ちに更新される。
- 同時編集では、リアルタイムのコラボレーションが可能。
- 共有文書を使用すると、時間と空間を超えて対話とディスカッションが可能になる。
- 家族中心のプログラムでは、共有文書には多くの用途がある。
- ここにいくつかの例とインスピレーションがある。
- あなたのプログラムの中であなた自身の革新的で創造的な使い方をすでに開発していることを期待する。

#### ■ デジタルポートフォリオ

- ポートフォリオは、子供の学習経験、成長、および技能開発のマルチメディア描写を提供する。
- 伝統的に、ポートフォリオは、写真、観察、学習ストーリー、子供のアートワークと執筆のサンプル、および場合によっては評価ツールを含むハードコピー文書であった。
- 主に教育者によって準備され、保護者会で年に2回両親と共有される。
- 現在、テクノロジーツールを使用して、ポートフォリオには幅広い多様な子どもの仕事が含まれており、家族がより簡単にアクセスして共有することができ、親からの寄付を含めることもできる。
- プログラムがデジタルポートフォリオの共有ドキュメントやフォトアルバムなどの共有ファイルを使用している場合、保護者は、ポートフォリオが拡大するにつれて、ポートフォリオを継続的に閲覧することができる。
- さらに、親はこの貴重なリソースを大家族と共有することができる。
- このオンラインフォーマットは、両親が年中子供の進歩を見ることを可能にする。
- デジタルポートフォリオは、子供の仕事の継続的な共有、プログラムでの子供の仕事と経験を描写するためのより多くの車両、そしてポートフォリオの作成における家族からの参加の可能性をより多く提供する。
- デジタルポートフォリオには、キャプションや写真が観測や学習のストーリーに埋め込まれた写真を簡単に含めることができる。
- サウンドやビデオクリップへのリンク、子供からの引用、三次元作品の写真、絵画や絵画のようなスキャンされたアートワークを作る子供の写真と並置することができるアートワークを含むことができる。
- デジタルポートフォリオにより、年間を通して発展するダンスやムーブメントへの子供の関心など、特定のテーマに関する進行中のストーリーを作成することができる。
- 常に新しいページやアルバムを追加できるので、セクションを拡張して新しい観測値や成果物を含めることができる。
- デジタルポートフォリオは、毎年あなたのプログラムを通して子供を追跡し、学校での時間の包括的な文書を作成することもできる。
- 家族とのさらなるコラボレーションを促すために、両親に共有文書の権利を編集させることができる。
- 共有文書には、独自の観察、写真、ビデオ、学習物語を追加する機会がある。
- ナディアは、彼女と Mikaela の家族が Mikaela のダンスへの興味の周りに作成した共有文書を説明する。

- 幼児の Mikaela がプログラムに入ったとき、両親は音楽と動きに対する彼女の好みについて教えてくれた。
- 彼女たちは、彼女の写真やビデオを見ると、1歳の年齢で跳ね返って音楽に振り回した。
- 私たちは Mikaela の写真の一部を印刷して教室に持ち込み、教室に入れるかもしれない音楽の提案を親に求めた。
- 私たちは、Mikaela のダンス・ムーブメント、グループ内の他の子供たちへの影響、音楽の種類に応じた動きのバリエーションについて独自のドキュメンテーションを作成し、共有デジタル・ポートフォリオにアップロードした。
- 彼女の両親が地元のコミュニティセンターで太鼓の演奏を見に行ったとき、彼らはそのイベントでダンスのビデオを撮り、太鼓のドラマーの写真と共に彼女のポートフォリオにアップロードした。
- 私たちはすぐに彼女のダンスの動きの変化を見て、いくつかの打楽器（発見されたものと再使用されたものから作られたもの）を教室に加えた。
- Mikaela の両親と私は、彼女のデジタルポートフォリオを使って、まだ観察、録音、共有している。
- Mikaela が私たちを幼稚園のために残すまでには、これはかなり学習の話になると思う。

#### ■ インタラクティブジャーナル

- インタラクティブジャーナルは、さまざまなタイプの親/教育者コミュニケーションに使用できる。
- ハードコピー版は、観察、メモ、家族情報、ケア指示書、その他の家族/学校の連絡を学校に保管する。
- あるプログラムでは、家庭から学校まで前後に移動するハードコピー版を使用し、両方の場所での子供の経験からの情報やストーリーを含めることができる。
- ある教育者が、子どもが自宅で海外旅行をするための手作りの本を作った。
- 本が帰ったとき、彼は彼のいとこ、彼の祖母からの押された花、そして彼の親からの旅行ノートを描いた。

- デジタルインタラクティブジャーナルは、情報を共有し、子供の歴史を保持するための別の会場を提供する。
- これらのジャーナルは、子供の前で話すことなく、挑戦的な問題について話し合う機密場所を両親や教育者に提供できる。
- インタラクティブなジャーナルは、ポートフォリオよりも形式的ではなく、さまざまな種類の情報を含むことができる。
- 家族と教育者がそれをどのように使用するかによって、各子供のインタラクティブ・ジャーナルは異なる。
- ケア情報、健康状態の更新、家族の旅行計画、余分な服を持たせるためのリマインダー、短い観察、質問、および情報の要求を含むことができる。
- C5 チルドレンズスクールの Joe Wiseman は、親の会議の前に、ポートフォリオや会議レポートなどの教科書を教師がホームスクールのジャーナルに投稿しているの、親は事前にそれらを見る機会があると説明している。
- 彼はまた、ホームスクールジャーナルが、親会議の前に、親と教師の両方が質問と議題を追加する場所であることを述べている。
- 家族がプログラムを終了すると、ジョーは彼らが行く前に Web サイトから写真、作業サンプル、観察、ビデオをダウンロードするように促す。
- デジタルインタラクティブジャーナルは、あらゆるデジタル機器から利用でき、以前のディスカッションの履歴を保持し、過去の情報を簡単に検索し、家族や教育者がコミュニケーションをとるための便利な方法を提供するという利点がある。

### 発見の旅

Annie White 博士は、デジタルメディアを使って教育者や保護者が学習体験を共有し、新しくエキサイティングなレベルに向けて取り組んでいます。ここに彼女のプロジェクトの話があります。ホワイトは、教育者が子どもの成長、学習、学校の成功についての教師との本物の対話に親が参加する機会を創造することが不可欠であると考えています。ホワイトは、KidZKount Early Head Start (EHS) 機関の元カリキュラムおよびトレーニングスペシャリストとして、発見者の親、家族、旅を特定したヘッドスタートマンデートを務める教育者や家族を支援する方法を模索したいと考えました。Annie White は、教育者や保護者がデジタルメディアを使って学習体験を共有することで、新しくエキサイティングなレベルを目指しています。ここに彼女のプロジェクトの話があります。ホワイトは、教育者が子どもの成長、学習、学校の成功についての教師との本物の対話に親が参加する機会を創造することが不可欠であると考えています。ホワイトは、KidZKount Early Head Start (EHS) 代理店の元カリキュラムおよびトレーニングスペシャリストとして、親、家族、および家族を特定するヘッドスタートマンデートを達成するために、教育者および家族を支援する方法を模索したかった

Learning Stories の記述された物語の観察は、教師と家族の間で共有され、子供の学習経験を文書化するために交換し協力する (Carr 1998; Carr and Lee 2012)。さらに、学習ストーリーは、教育者や家族が子供の学習経験に関する本物の対話に従事する方法を提供します (Carr 2001)。これは、双方向コミュニケーションと意思決定の共有に、両親と教師の両方の専門知識を含める強力な方法です。ホワイトは、時間的制約と言語とリテラシーの違いのために、この対話のための経路を作ることは難しいことを知っていたので、彼女はこのコミュニケーションを容易にする技術ツールを導入しました。White は、Learning Stories が、Head Start の教師や家族が、子どもの学習と開発の物語的な観察を共同で作成することで、学校の準備に従事する新しい方法を提供すると仮定しました (White 2015)。家庭でスペイン語と英語の両方を話していた家族と一緒に働いて、White は技術的ツールを使用して、家族と職員の間でコミュニケーションと共有を行うためのプラットフォームを提供しました。彼女は、EHS のスタッフと両親に、iPad やタブレットを手書きしたり、使用したりして、Journey of Discoveries を記録するオプションを提供しました。EHS のスタッフは、iPads またはタブレットを使用して、録音された Journey of Discoveries (White 2015) を録音し始めました。転写物は印刷され、子供のポートフォリオに入れられ、予定された家庭訪問と教室で両親と一緒に見直され、議論された。さらに、スペイン語で保護者が録音した「発見の旅」は、Google 翻訳の iPad プログラムを使用して英語に翻訳されました。スタッフは、スペイン語を母語とする両親のために、Discover of Journey of Discoveries を英語からスペイン語に翻訳することもできました。このようにして、iPads とタブレットは、Journey of Discoveries の観測 (White 2015) の音声ディクテーションを通じて、スタッフと親のコラボレーションの機会を拡大しました。さらに、ホワイトは安全な雲の場所を使って子供のファイルを保管し、教師と子供の家族だけにアクセスを許可しました。「Dropbox を利用する目的は、EHS のスタッフと親の写真、ビデオ、完成した Journey of Discoveries を別々の子供のファイルにアップロードすることでした。。。。個々の子供のファイルには、EHS スタッフとその親/保護者のみがアクセスできます。ファイルは機密保持のためにプログラムに登録された家族間で共有されません」 (White 2015)。White は、保護者と教育者が、家族と教育者の母国語の両方でアクセス可能な「発見の旅」を共有するための流動的なプラットフォームを提供することができました。両親はすぐにプロジェクトに搭乗しました。最初の 2 週間の冬休みでは、彼らは 1 つの教室の家族から 100% 参加しました。

教育者は、すべての学習ストーリーが、自分のプログラムで必要とされる評価ツールに関連していることを発見しました。White (2015) によると、Discoveries の書面による観察は、Desired Results Developmental Profile の子

供の評価を評価するための証拠として使用されました。教師が学習、開発、幼児教育プログラムにおける幼児の進歩（カリフォルニア州教育省 2015 年）。パイロットが進むにつれて、ホワイトは、教育者たちが熱心に両親が書いたことを分かち合おうとしていたと報告しています。彼らは、「両親は発見の旅を愛している」（White 2015）と述べた。White は、EHS スタッフが親の Learning Stories への書面による回答を提供することにより、Discover of Journey を拡大することを推奨しました。彼女はまた、スタッフが両親に教師の書面による返答に対応するように要請したことを示唆した。（a）接続、（b）パートナーシップ、（c）関係の構築、（d）共有理解の価値（White 2015）の 4 つの中心的テーマが、パイロットプログラムに参加している 3 つの EHS サイト全体にあった。White は、Journey of Discoveries メソッドを使用して、EHS のスタッフと保護者の間で行われたコラボレーションを、テクノロジーがどのように強化したかを実証することができました。白はプロジェクトを他のプログラムに拡大し始めました。

#### ■ クラスワークの共有

- オンライン文書は、教室の作業を両親と共有するための効果的な方法を提供する。
- ニュースレターは、写真、テキスト、スキャンされた画像、リンク、多彩な書式を含む Google Docs などの共有文書に投稿することができる。
- さらに、すべてのニュースレターが 1 つの共有サイトに保存されている場合、保護者と教育者は以前のニュースレターで情報を簡単に検索できる。
- オンライン文書は、リアルタイムの共同作業や親とのディスカッションにも使用できる。
- 教室活動の写真やドキュメンテーションは、同じ日にアップロードして共有することができる。
- 一部の教育者は、両親がすぐに見ることができる共有文書を子供とのグループディスカッション中にメモを取る。
- 共有文書は、保護者のために幼児ケアルーチンをリアルタイムで追跡するためにも使用できる。
- 教育者は、ドキュメント上の図表を使用して、親からのおむつ、授乳、昼寝、およびその他の日常の情報を追跡することができる。
- この図表は 24 時間にわたり、編集権を共有することで、両親が学校の家庭や教育者を追跡し、両方の大人に完全な画像を与えることができる。

#### ■ 共有情報とデータ

- 共有の情報は、共有された意思決定を容易にする。
- いくつかのプログラムでは、教育者は、保護者と教育者が一緒に意思決定を行うために家庭や学校のデータを収集するためのフォーラムが必要であることを発見した。
- たとえば、ある就学前の教室では、子供が自宅で寝るのに困っていた。
- 彼の両親と先生は、両親が睡眠を助けるために使用できるさまざまな戦略について話していた。
- 学校での昼寝が夜間に睡眠に影響しているかどうか疑問に思っていた。
- 彼らは、彼の昼寝の時間と期間に関する情報を教育者が記録できる共有スプレッドシートを作成することに決めた。
- 両親は、夜間に寝るのにどれくらいの時間がかかるか、
- このようにして、対象となる文書は、親/教育者の共同作業のために使用するデータを提供することができる。
- 数週間後に、彼は 3 : 30p.m. 少なくとも 1 時間は昼寝していたので、夜は寝るのが楽になった。
- 教育者は、3 時 30 分までに少なくとも 1 時間の睡眠を取ることができるように、子供の昼寝スケジュールを調整することができた。
- 子供の発達情報を追跡するために共有文書を使用する教育者の例もある。
- ナイトと彼の教授チームは、3 歳の Veronica の言語について疑問を持ち始めていた。
- 彼女の家族は自宅でスペイン語を話しましたが、彼女の教室ではほとんどが英語だった。
- Veronica は強力なコミュニケーターであり、一般的に彼女の意見を得ることができたが、彼女のコミュニケーションの多くは非言語的だった。
- 彼女の先生たちは、彼女の語彙について不思議に思っていた家族とこのことについて話した。
- 教師と家族は、彼らがスペイン語と英語、家庭と学校で話す言葉を録音するのに使うことができる共有文書を作成することに決めました。彼女が使った言葉のほかに、彼女の発音も含まれていた。
- 例えば、アグアという言葉の場合、Veronica は「あわ」と言っていた。
- 彼らがこの共有リストを編集したとき、家族と教師の両方が自分の言語をよりよく理解できるようになり、スペイン語と英語の間に、彼らが思っていたよりも。
- 親と教育者は、共有文書を使用して、子供の食べ物、トイシ、挑戦的な行動、または相互に興味のある他のトピックを追跡することもできる。
- 共有文書は、より高度で詳細なレベルの情報共有とコラボレーションを可能にし、子供のための教育的意思決定を行う上でより効果的なパートナーシップをサポートすることができる。

#### ■ 共有ドキュメントを使用したフォームの作成

- 共有ドキュメントを使用すると、親が完了する必要があるフォームの作成が容易になり、継続性が向上する。
- 子供や家族についての情報を提供するアンケートは、保護者がコピーしたり、名前を変更したり、子供のために記入したり、教育者やセンター管理者と分かち合うことができるテンプレートを使用して、デジタルにすることができる。
- これらの書式は、子供が成長したり変更されたり、家族情報が変更されたりすると、簡単に更新できる。
- 共有文書は、ライセンス要件を満たすためにも使用できる。
- 例えば、カリフォルニアでは、2歳未満の子供の家族は、子供が2歳になるまで四半期ごとに「ニーズとサービス」の計画を記入しなければならない。
- これは家族にとっては面倒な作業ですが、オンラインフォームでは3か月ごとに再送信する前に簡単に小さな変更を加えることができる。
- 多くのプログラムは、保護者が使用するオンラインフォームを開発している。

#### ■ サポートする共有ドキュメント

- コラボレーティブなイベントの計画共有されたドキュメントは、イベントと一緒に計画するためのプラットフォームを提供する。
- 教育者は、親会議に先立って両親と会議の議題を共有し、両親に自分の議題項目、質問、または情報を文書に追加するよう促すことができる。
- 共有文書は親イベントの計画にも使用できる。
- 保護者はスプレッドシートや SignUpGenius などのオンラインボランティアプログラムに登録して、ポットラックにアイテムを持ち込む、アクティビティを支援するボランティア、フィールドトリップに出かけたり、学校全体のイベントの特定のタスクを完了することができる。
- 共有文書は、教育者の思考と計画を目に見えるだけでなく、家族をイベントの共同企画に招待する。
- 共有文書は、他の種類の会議にも使用できる。
- 議題、議事録、および行動項目はすべて共有することができる。
- これにより、すべての会議や委員会に出席することはできないが、そのグループの仕事に常に気づきたいと思う親や教育者とのより大きなコラボレーションが可能になる。
- あなたは、会議の前に入力を招待することもできる。
- これは、共有会議文書のトピックにコメントするように人々に依頼することである。

#### ■ 共有カレンダー

- 共有カレンダーと招待状は、イベント計画を劇的に変えた。
- 共有カレンダーを使用すると、場所、時間、イベントの説明など、グループメンバーのカレンダーにイベントを投稿できる。
- オンラインカレンダー招待状には、会議の議題文書や先読み資料などの添付ファイルも含めることができる。
- また、予定のスポットがブロックされているカレンダーを共有することで、保護者を親会議に招待することもできる。
- オンラインカレンダーや電子招待状は、イベントを参加者のカレンダーに投稿するだけでなく、イベントリマインダを送信できる。
- 共有カレンダーツールまたは家族との電子招待状を使用すると、親会議、親会議、親アドバイザリーグループ、親の教育イベント、教室のお祝い、その他多くの学校イベントの計画を簡単にすることができる。

#### ■ オンライン調査

- 家族との意思決定を共有するには、意見、考え方、考え方、家族の好みを招くさまざまな方法を開発する必要がある。
- オンライン調査は、あるグループの人に入力を依頼し、その結果を読みやすい形式で整理するためのツール。
- 教育者は、調査を使用して、学年集会の日時や種類、今後の親会議の話題に関する親の好みを学んだ。
- 彼らは、今後の学校のイベントやイニシアチブへの関心を決定するために使用することができる。
- あるプログラムでは、親の勤務時間の計画を開始し、親の興味、可用性、スキルを尋ねる調査が行われた。
- もう1つは、親会議と保護者会を提供するための最善の時間を決定するためにアンケート調査した。
- アンケートは、両親がプログラムのフィードバックを伝える便利な方法を提供する。
- 両親とのコミュニケーションにテクノロジーを使用し始めたばかりのプログラムでは、親の優先通信ツールについて調査した。

### ■ TECHNOLOGY: A TOOL FOR EDUCATOR COLLABORATION IN BUILDING PARTNERSHIPS WITH PARENTS

#### ■ テクノロジー：父親とのパートナーシップにおける教育者の協力のためのツール

- テクノロジーのもう1つの利点は、教育者が計画、反映する際にコラボレーションできること。

- このコラボレーションの多くは教育者の間でのみ行われるが、この種のコラボレーションから生じる作業の複雑さと深さは、教育者が家族と共有する作業にも反映される。
- テクノロジーは、教育者に、親/教育者のコミュニケーションのさまざまな側面で協力する機会を提供する。
- すべての子供の教育者は、文書に貢献し、観察と写真を追加し、両親に複数の視点の恩恵を与えることができる。
- さらに、教師は、小グループの仕事を文書化し、各子供の仕事の短い説明を加えて、いくつかの子供のポートフォリオに使用することができる学習ストーリーを作成できる。
- 例えば、Dot (Caitlin の第一の教師) と Josue は、動物の生息地を構築する子供のグループとの長期的なプロジェクトに取り組んでいる。
- Josue は、グループの調査を説明するための学習ストーリーを作成した。
- これを通して、彼は多くの観察を行い、Caitlin の作品の写真を撮った。
- 彼はそれを使って Caitlin のポートフォリオのエントリーを作成した。
- Caitlin のポートフォリオはオンラインであるため、Josue は学習の話を簡単に追加でき、Caitlin の家族はすぐにそれを見ることができる。彼らは会議時だけでなく、いつでも彼女のポートフォリオにアクセスできる。
- 進捗報告書と評価ツールも共有オンライン形式であれば、すべての子供の教育者は自分の記録に情報を追加できる。
- たとえば、小規模なグループでは、チームメンバーの 1 人が Kayden と協力して、独創的なスペルを使って週末にオタマジャクシを捕まえるという話を書いた。
- 彼女は Kayden の初級教師と話し、Kayden の評価ツールに記入して、筆記経験を文書化するよう提案した。

#### ■会議の計画とフォローアップ

- 子供の会議を計画するとき、教育者は、会議計画のためのメモを含む文書を作成することができる (ポートフォリオや彼女と同僚が収集した他の文書に加えて)。
- 彼女のチームは彼女と会議の計画について話し合うことができ、会議計画書にメモを追加することができる。
- 会議後、教育者は、共有文書を使用して、チームとの会議のメモを確認できる。

#### ■教室とコミュニティの図書

- 共有された文書を使用することで、教師が授業文書のさまざまな部分で作業し、同僚の作業に対する提案や編集を行うことができる。
- このコラボレーションは、幅広い情報を提供し、教室の出版物にもっと一貫した感触をもたらすことができる。

#### ■カリキュラム計画

- テクノロジーは、教育者がオンラインでのカリキュラム計画を作成することを可能にする。
- オンラインカリキュラム計画は、プランニング情報と、発生した活動の観察と写真とともに、継続的に更新できる。
- 教育者は写真、ビデオ、および観察を計画ミーティングに持ち込むことができ、チームはデータを解釈して反映し、今後のカリキュラム活動の可能性の計画を立てるのに役立つ。
- 共有文書を使用すると、教師はタイムラインとアクションステップを作成できるため、チームのすべてのメンバーは、今後のカリキュラム計画での役割を認識する。
- 教育者は、カリキュラム計画プロセスのどの段階で、親を招待したり、家族に見えるようにするかについて、意図的にすることもできる。
- 多くの教育者は家族にオンライン計画文書を見てもらい、印刷して教室にも掲示する。

#### ■ニュースレター、アナウンス、および親のコミュニケーション

- 時には自分自身でニュースレター全体をまとめるのは難しいように見えるかもしれない。
- 共有オンライン文書を使用することで、両親を含む他の人がニュースレターに貢献し、助け合うことができる。
- 親のコミュニケーションを書くときには、あなたが何を言っているかを正確に伝えているかどうかを確実にするために、あなたが書いたものを読んでもらうことが常に役立つ。
- 共有文書の電子メールまたは親文字を開始し、最終的な電子メールにコピーする前に 1 人または 2 人の他の人がそれを見直してコメントを付けると、コミュニケーションが向上する可能性がある。